

▶ 株式会社 chromocenter の染色体解析の受託を始めました

当社は 2023 年 1 月 10 日に株式会社 chromocenter の染色体解析事業を譲り受け、株式会社 chromocenter の核型解析および mFISH/FISH 解析の受託を始めました。

核型解析および mFISH/FISH 解析は、ヒト由来細胞・組織加工医薬品等やバイオ医薬品生産細胞の品質および安全性の評価技術であり、再生医療等製品やバイオ医薬品の分析評価において主要な試験の一つです。株式会社 chromocenter の

これらの解析は国内有数の技術力を誇り、豊富な受託実績を有しています。このたび、これらの解析（サービス）事業を当社が継承し、受注、販売することになりました。

当社は、医薬品開発における再生医療等製品をはじめ、核酸を含む中分子医薬品やバイオ医薬品などモダリティ多様化に沿った評価技術と医薬品開発支援サービス体制の拡充に取り組んでおります。今後、新 chromocenter と事業連携を深め、お客様からのニーズに幅広く応えることで、再生医療等製品およびバイオ医薬品の品質および安全性評価においてトップランナーを目指し、新薬の開発、医療の発展に貢献してまいります。

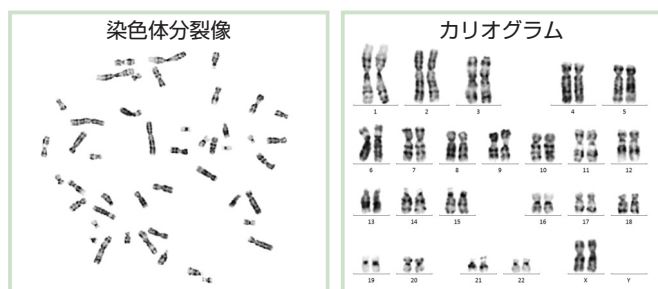


図 核型解析例

【本件に関する問合せ先】

(株)住化分析センター 医薬事業部

TEL : 06-6202-1801

Email : Hiyakumarketing1@scas.co.jp

▶ 日本分析化学会 2022 年度有功賞受賞

当社千葉ラボラトリーの竹内裕、的野敦、大阪ラボラトリーの松井精司、梅原一宏の四名が日本分析化学会「2022 年度有功賞」を受賞しました。一同は 30 年以上の長きにわたり分析実務に従事し、豊富な経験と知識を活かして様々な分野のお客様のご要望にお応えしてきた実績を認めていただいたものです。

竹内は、一貫して出荷分析に関わる業務に従事し、特にポリエチレンとポリプロピレンの物性測定に関して卓越した分析技術を活かして活躍しており、お客様からの難解な検討案件に対して的確な対応で信頼を築いて参りました。また優秀な技術者の育成にも貢献しております。

的野は、無機分析とポリマー分析を長年担当し、半導体産業で必要とされる電子工業用薬品中の超微量金属不純物の超高感度分析とともにポリマー分析においても信頼性の高いデータを提供するなど当社のサービスを支えて参りました。

松井は、主に元素分析装置の開発と改良に長年従事して参り

ました。その間、お客様の分析方法確立支援などにも精力的に取り組むだけでなく、JIS・JAS など公定法審議委員会における公定法化に寄与するとともに、食品・飼料業界のお客様に装置を活用いただくなど、広く社会にも貢献して参りました。

梅原は、HPLC カラム製造業務を中心に熟練を要する LC カラム充填や充填剤合成に長年携わっています。特に、各産業界で活用いただいているキラル固定相「SUMICHIRAL®」の製造・品質向上や HPLC 用ガードフィルター等の新製品開発に携わり、多くの成果を上げてカラム事業に貢献して参りました。

受賞した四名は、いずれも第一線で活躍するなかで、分析サービスを通して社会に貢献する側ら、現在も後進への技術伝承に取り組んでおります。自らの技術を磨くとともに多様なニーズに真摯に応える姿勢は当社のクオリティーカルチャーの礎となるものです。当社は、お客様に信頼されるパートナーを目指し、これからも研鑽して参ります。



千葉ラボラトリー 竹内



千葉ラボラトリー 的野



大阪ラボラトリー 松井



大阪ラボラトリー 梅原